

# 平成29年度予算見積調書

課室名：生産振興課

担当名：野菜担当

内線：4082

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B58	次世代施設園芸技術導入支援事業		一般会計	農林水産業費	農業費	園芸農産振興費	埼玉園芸生産力強化支援費	
事業期間	平成29年度～平成33年度	根拠法令	-		挑戦項目	09 儲かる農業の推進		
					分野施策	040937 強みを生かした収益力ある農業の確立		
1 事業概要			5 事業説明					
<p>収益性の高い施設園芸経営の確立を支援するため、次世代技術実証・普及センター（仮称）で実証する新技術について、県内産地・生産者に対して早期に普及することを目的とする。</p> <p>(1) 新技術導入支援事業 26,700千円 (2) 新技術普及推進事業 1,926千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 新技術導入支援事業 26,700千円 (ア) 新技術導入補助 県内生産者等が導入する統合環境制御装置及び関連機器（炭酸ガス施用装置等）の整備に対する補助 (イ) 次世代施設園芸地域展開促進事業 拠点が行う次世代施設園芸技術の地域展開（拠点の成果やノウハウの分析・情報発信等）への支援 イ 新技術普及推進事業 1,926千円 県が行う情報発信や普及活動等の取組、生産者等の視察対応、関係機関との連絡調整等</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 整備事業 H29～H33 新技術関連機器の整備費補助 各年度 統合環境制御装置及び併せて導入するCO2施用システム、細霧システム、養液システム 6地区 イ 国庫補助事業 H29～H33 地域展開活動への支援 埼玉拠点 ウ 推進活動 H29～H33 情報発信や普及活動等の取組、生産者等の視察対応、関連機関との連絡調整等</p> <p>(3) 事業効果 生産者の経営に応じた施設園芸の新技術の導入が進み、技術及び経営の革新が図られる。施設園芸産地が活性化し、本県野菜生産が大きく飛躍する。</p>					
2 事業主体及び負担区分								
<p>(1) (県1/2) 生産者団体等1/2 (国10/10・県0) 生産者団体0 (2) (県10/10)</p>								
3 地方財政措置の状況								
なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
9,500千円×1人=9,500千円								
予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
決定額	28,626	国庫支出金	1,000				27,626	28,626
前年額	0						0	